

地域づくり計画

文化の香り高い 安全安心で
健康な町を みんなで作ろう!

令和4年3月

柏原自治協議会

地域づくり計画 目次

1 はじめに	1
2 現状と課題	1
(1) 地域コミュニティの現状	1
(2) 地域コミュニティの課題	2
3 将来像	4
4 地域づくり事業、事業費計画	6～7

柏原自治協議会 地域づくり計画

1 はじめに

平成18年7月に発足した柏原自治協議会は、各自治会と各種団体が中心となって、子どもから高齢者までが住みやすく、住み続けたい、誇りに思える町づくりを進めるために、平成23年から丹波市の地域づくりを支援とする「元気な地域づくり事業」等によって、ふれあい活動を重点にした地域づくりに努めてきました。

今後10年間の地域づくりを効果的に推進するために、発足後10年間の実績を踏まえて、住民と地域の関係団体が一体となって地域の課題解決や、地域づくりに参加していただくための、新『地域づくり計画』を作成し、以後その地域づくり計画の方針に沿って、毎年度の事業を検証しながら効果的に推進してまいります。

2 現状と課題

(1) 地域コミュニティの現状

① 地域の概要

柏原自治協議会の地区（以下「崇広校区」）は、中央位置に国、県の行政機関や、住民生活に密接な文化、教育、病院施設や商店街があり、周辺部は住宅が増加して住民の活動範囲が拡大して、田畑が多く点在し緑豊かな地域で、住生活環境においては調和がとれた地区です。

しかし、街中では住民、商業関係者の高齢化、後継者問題による人口と商店の減少が続いていますが、最近になって、まちづくり団体の積極的な誘致や、事業者の進出により、空き家を活用した商店や事業所が目立ち、また、自己努力による集客や、景観にも配慮した改装を行うなど、活性化の動きがあります。

なお、一昨年からのコロナ禍により減少した観光客も、感染状況が低くなった季節には、観光ガイドの説明を聞き入る姿を多く見受けられます。

② 高齢者の状況（H29以降の統計）

平成29年1月末の丹波市の高齢化率32%に対し、崇広校区での高齢化率は25.8%であったが、令和4年9月末には、丹波市が35%、崇広校区では28.1%と推移するが、活動拠点施設（以下「柏原自治会館」）周辺の7自治会では33.9%と年々高い割合になり、東奥自治会では43%と高い割合であります。

③ 地域団体の活動状況

崇広校区17自治会においては、コロナ禍の時期でも高齢者を対象としたふれあいサロン、グラウンドゴルフなどの軽スポーツや文化活動など、また、毎月の環境美化活動を行い、単位地区住民の一体感を育むために積極的に取り組んでいます。夏祭りなどの交流の中止的な行事を、中止する自治会が多くなっている。

コロナ禍においては、地区内の60歳代以上を中心としたサークル団体、まちづくり関係、女性、ボランティア、体育スポーツ、PTAなどの団体活動や、社会福祉、教育活動ともに、活動の自粛、取り止めが多くなって、交流について重要な積極的な活動に接する機会激減している。

柏原自治協議会でも、発足時からの活動を平成23年度からさらに充実した歩こう会、ふれあい音楽会などの交流の場を提供していたが、自主活動団体の体育振興会が解散をしたために、その事業を受け継ぎにより、直接自治協議会がより多くの住民の一時の安らぎと、ふれあい活動に貢献していたが、ここでもコロナ禍の影響があり、交流の機会とする事業の減少は多々ある中においても、事業の見直しを断行して、参加住民の少ないホタル鑑賞会、まちかどウォークラリー、桜まつりと紅葉まつりの廃止などのほか、特定の方の参加のみとなった茶華道体験、夏山登山、地域見回り活動での奨励賞などは当分の間は中止するとした。

④ 地域の活動拠点となる施設の状況

「柏原自治会館」は、計8室、収容人数が少人数から約100人までの要望に応えられる施設で、書道、和裁、絵、コーラス、囲碁、軽体操等に趣味の団体の活動拠点の役目を果たし、茶道などの伝統文化にも利用できるように床の間、茶釜と畳を準備し、多様な活動団体や企業関係などの会議にも利用されるなど、毎日ご利用されて年間約2万人に達していたが、ここにもコロナ禍の影響があり約1カ月休館することなど3回感染拡大対策を行った。反面、会館使用維持協力金の減収が生じた。

そうした中でも、緊急時の避難所としての備品、食料品などを準備していたところ、台風接近により3回の避難者受け入れを行って、地域づくり拠点の当初の目的のために活動しています。

(2) 地域コミュニティの課題

すでに、市内各地で直面しているような少子・高齢化に伴う

諸問題が目前となっている地区、いずれやってくる地区などがあります。

今後求められる優しい人間関係を構築するには時間を要します。

継続した諸問題の調査活動や対応活動が求められることと、平素のコミュニティ活動活性化のための課題を、次のとおりまとめました。

ア 核家族化の傾向による壮年層(25歳～44歳)の増加による生活活動範囲が、周辺部や他地域拡大、分散し、新旧混在する住民の意識の異なりにより、自治会によっては自治会の目的とする事業の効果に苦慮しているため、さらなる理解される活動が求められます。

一方、柏原自治会館周辺の地区では、最近になって多種の商店が開店して、観光客と共に往来が多くなっていますが、今後さらに、これからも楽しく住み着く地元を知り、生活に役立てながら、地区内での販売、購買奨励工夫、住民同士や特に子どもとのふれあいの機会による地域の安全活動が求められます。

イ 崇広校区は、高齢化率が低い地区や高い地区に分割されますが、共通して今後の高齢化社会で地域の中心となる壮年層、中年層(45歳～64歳)の事業、行事への企画、参加を促す意識付けと、機会づくりが求められます。

ウ 高齢化時代になるまでに、高齢者においても就労、趣味での学習、ボランティアなどへの意識づけと健康を保つ必要があるため、多様な活動の機会、場を自身による模索、あるいは提供することが求められます。

エ 崇広校区の人口、地区形態は大規模ながらも多少のバラツキはありますが、小さなコミュニティに分散されます。きめ細かな住民生活、関係を維持、構築するには、自治会の担う度合いは重要で、今後、自治会との事業の役割分担を見直しながらの協力体制が求められています。

オ 柏原自治会館は、建築後47年を経過しているため傷みも激しく、今後も雨漏り防止策と、電気、空調設備の経年劣化に対応しながら、施設の改善、補修をしてほか、誰もが使いやすい施設にする必要があり、Wi-Fiを整備しました。

さらに、中年層以上の利用が多く利用年層の変化に対応

するための利便策が必要で、併せて多くの住民がサークル団体に加わり優しい人間関係の維持、育成などが求められます。

カ 丹波市役所旧柏原支所は、昭和 10 年に出来た建物であり令和 2 年に移転したが、その外観と内部についてはエキゾチックであり、木の根橋と称するオオケヤキと共に、地域のシンボルである。

丹波市においては、建物の重要性を認識しつつ地元の意見を尊重しての対応を模索しているために、地元においては、令和 2 年に 11 月に各種団体による協議会を立上げて、地元での活用方法を模索する一方で、丹波市から管理の委託を受けて、地元住民や観光客の休憩所、中高校生の自習室としての事業を行っている。

3 将来像

目標 文化の香り高い 安全安心で
健康な町を みんなで作ろう！

4 地域づくり計画

計画づくりの 3 本の柱は

- ① 日常生活で心のゆとりを育て、高齢化が進む中で住民が共に協力しあい、安全安心な地域を目指す。
- ② 歴史と伝統を大切にし、文化の伝承活動を通じて、心豊かな人々の地域を目指す。
- ③ コミュニティ活動の拠点である会館の充実を図り、活発な交流広場を目指す。

計画の基本方針は

- ① だれもが身近で暮らせる地域づくり
- ② だれもが元気に暮らせる地域づくり
- ③ だれもが支え合い楽しく暮らせる地域づくり
- ④ だれもが文化と共に心豊かに暮らせる地域づくり
- ⑤ だれもが安心して暮らせる地域づくり

- ⑥ だれもが情報を共有できる地域づくり
- ⑦ だれもが気持ちよく使える活動拠点の整備

注 高齢者の状況は、丹波市ホームページから引用
年代層は、インターネット「フリー百科事典」から引用し内容にある
『厚生労働省の資料（健康日本21）』を使用しました。

「地域づくり計画」事業費表

活動事業費 A

単位 万円

事業のねらい		総額	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
1	だれもが身近に暮らせる地域づくり (向こう三軒両隣風潮の復活を)	564	104	130	110	110	110
2	だれもが元気で暮らせる地域づくり (健康づくり活動)	76	16	15	15	15	15
3	だれもが美しい環境で暮らせる地域づくり (環境活動)	551	111	110	110	110	110
4	だれもが支え合い楽しく暮らせる地域づくり (福祉活動)	156	36	30	30	30	30
5	だれもが文化と共に心豊かに 暮らせる地域づくり (教育文化活動)	409	89	80	80	80	80
6	だれもが安心して暮らせる地域づくり (安全活動)	75	15	15	15	15	15
7	だれもが情報を共有できる地域づくり (広報活動)	110	22	22	22	22	22
8	地域活動活性化推進事業	182	37	38	36	36	35
9	集いやすい環境整備、事務整備	384	38	90	76	100	80
5年間の 合計		1,943	468	530	494	518	497

施設充実費の内訳 B

単位 万円

	総 額		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
	自己	課題					
1	エレベーター	バッテリー/部品	2	25	27		
2	外壁、屋上の防水塗装		1	10	11		
3	揚水ポンプ		30		30		
4	エアコン 1基 (23・31・32号室 1か所/年)		260	80		100	80
5	電灯のLED化(23・31号室)		10		10		
6	AEDの更新		16		16		
7	トイレの水洗の非接触化		30	10	20		
8	上記以外の備品						
5年間の 合計		349	35	38	90	76	100
		384					80

太字は、地域課題解決事業分

令和4年度 地域づくり計画の細部内容

1 だれもが、元気で暮らせる地域づくり (健康づくり活動を推進し、健康な地域をめざす事業)

(単位:万円)

分野	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体			
健康	健康づくりの原点	ふれあい 歩こう会 (年間2回の予定)	春・秋、夏休日は親子参加 他に森公園、小南山その他	基本は鐘ヶ坂公園 新井自治協と調整	参加賞 60人×@500	—	—	—	全般 調整 新井自治協		
			ラジオ体操	月1回 日曜日の朝 大人・子供関係なく各地区で	貫徹賞 60人×@500	3	—	—	自治会 協議会		
	だれでもスポーツ	囲碁ボール、グラウンドゴルフ	軽スポーツを楽しみながら挑戦する	参加賞 景品代	6	6	6	自治会体育委員			
			新春マラソン	健康づくりの一環として実施する 1月2日	参加賞 賄い	7	7	7	自治会体育委員		
					16	0	13	0	13	0	万円

2 だれもが、美しい環境にして暮らせる地域づくり (美しい環境をみんなでつくる地域づくり事業)

赤字は、課題解決事業の交付金対象

(単位:万円)

分野	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体			
環境	美しくして、楽しい生活をめざす	地域でのふれあい活動	ゴミ拾いボランティアでの美化活動 (公共部分、柏原川の清掃を住民に呼びかける)	活動費	5	5	5	全般 調整 協議会 自治会			
			草刈ボランティアでの美化活動 (調査と行政に連絡 住民に呼びかける)	活動費 燃料代ほか	3	3	3	全般 調整 協議会 自治会			
			自治会、活動団体で花壇の整備	13か所×@65,000	83	90	90	自治会 団体			
			里山道の整備	2か所×@50,000	10	15	10	自治会 団体			
			複数団体でのふれあい活動	2団体×@70,000	2	2	2	自治会 団体			
			犬、猫を飼うマナーの啓発	地域猫をなくする活動。犬を飼うマナー啓発広報	5	4	4	自治会			
			やさしい観光	観光のために環境整備を	立て看板 絵地図など	3	3	3	観光まちづくりの会 町づくり団体		
						111	15	117	0	117	0

3 だれもが、支え合い楽しく暮らせる地域づくり (みんなで行く福祉活動での地域づくり事業)

(単位:万円)

分野	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体			
福祉	高齢者対応	高齢化、一人暮らし老人の対応	福祉に関する学習 学習会の開催 (新井自治協議会との合同)	3回	18	10	10	新井自治協、社協、支えあい会			
			高齢者の体力維持	いきいき100歳体操運営支援	12	7	7	実施団体			
	扶助精神の実践	ボランティアの充実	高齢者、一人暮らし、老人夫婦、障害者の福祉	講演会、勉強会	1	4	4	協議会 準備運営等 自治会			
			ボランティア団体等に助成	ボランティア団体等7団体	5	5	5	協議会 ボランティア			
					36	0	26	0	26	0	万円

4 だれもが、文化と共に豊かに暮らせる地域づくり (教育活動を推進した地域づくり事業)

(単位:万円)

分野	基本項目	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体		
教育	あいさつ運動	あいさつ運動	・自然に挨拶ができ、笑顔のある町、助け合う町を目指す。	啓発用の旗を作る	・旗の交換は2年ごと	30			35	自治会 PTA	
				地域で子どもを育てる	小学校6年生を対象に、先人の活動と人権を学ぶ	地域説明員から状況を聴き取る。	・報償費 3人×@3,000	5	3	3	校区委員会 自治会 学校
	地域学習	生涯教育の充実をはかる	地域での学習をする	令和かいばら塾 夏休み期間 5日間	・報酬費12人×@1,000×2×6 使用料 2万円 ほか	15	20	14	14	校区委員会 PTA 自治会	
				縦めくり 実行委員会制	各所に縦段や吊り籠を飾りつけ伝統をつなぐ。	材料費 会場使用料 広報紙	25	30	30	商店街 ボランティア	
				ふれあい 音楽のつどい	会館利用者を中心にして、心のやすらぎを求める。	10	12	12	協議会 準備運営等 自治会		
				歴史の勉強会の開催		—	2	2	0	歴史の会 観光ガイドクラブ	
				男女共同参画推進費	活動費補助	4	4	3	3	男女共同参画推進連絡会	
					89	20	65	0	99	0	万円

5 だれもが、安心して暮らせる地域づくり (安全活動を通して、住みやすい地域づくり事業)

(単位:万円)

分野	基本項目	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体		
安全安心	交通安全意識の向上	町ぐるみで交通安全の強化を図る	交通マナーの啓発をして、交通事故防止に取り組む	広報物の印刷 パンフレットの配布	—						
			横断時の黄色旗の設置	維持管理	黄色旗の購入 3年ごとの更新	—				協議会 自治会	
			各地区の避難者に対応するための整備をする	用具費 材料費			5		5	協議会 自治会	
			地域見回り活動を目的とした活動・地域見回り協力者の増強	用紙、冊子代 ・看板 挿し絵 お礼	2	2	2	2	全般 調整 協議会 募集、記録等 自治会		
	災害、防犯に備えよう	わが街を災害、防犯に強えよう	登下校時の安全対策を図る	子ども110番の旗50本×@1,100	7	10	6	6	12	PTA 校区委員会	
				防犯ベル65個×@600	5	6	6	6	PTA 小学校		
				防犯灯の管理	小南地区防犯灯の電気代	1	1	1	1	協議会	
									15	10	20

6 だれもが、身近に暮らせる地域づくり (向こう三軒両隣風潮の復活を)

(単位:万円)

分野	基本項目	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体		
自治活動	広域活動	安全 互助 自治会活動	・災害対応と避難活動の推進	・災害対応と避難活動の推進	5	5	5				
			・日常生活での助け合い活動の模	・日常生活での助け合い活動の検討	15	15	15				
			自治会活動推進費	自治会活動保険	78	78	78				
			かいばら一番館管理		6	6	6				
		丹波市等との連携	丹波市を含めた自治団体との連携・行政面における他機関との調整、実施の推進	0			6				
					104	0	104	0	110	0	万円

7 だれもが、情報を共有できる地域づくり (地域活動に役立つ情報の提供)

(単位:万円)

分野	基本項目	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体	
広報	情報を伝える	広 報	広報紙の発行	年2回発行 事業ごとに発行	22	14	14			
			ホームページでの情報提供	随時更新						
					22	14	0	14	0	万円

8 郷土に密着した地域活動を推進する (事業、行事に参加して、ふれあい活動を充実させる地域づくり事業)

(単位:万円)

分野	基本事業	実施項目	実施内容	積算額 (単位万円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施主体			
振興	地域活性化の推進	郷土を愛着する心を育む	・中学卒業を祝う	70×@1,400 ほか	12	11	12				
			地域活動協賛金	イベント	5	10	5	協議会 実行委員会			
			夏まつり支援	夏まつり	10	10	10	協議会 実行委員会			
			織田まつり支援	織田まつりなど歴史のある文化を大切に	10	10	10	協議会 実行委員会			
					37	0	41	0	37	0	万円

(5年間) このページ小計

前頁とこのページの合計

通常(このページの事業費)	430	45	400	0	436	12	万円
施設充実事業(前ページ下段B)	38	35	90	0	78	0	
事業費 合計	468	80	490	0	512	12	万円

総事業費 課題解決事業(内訳)